

公園のボール遊び 市立学校のバリアフリー

☆ボール広場の面積は子どもの意見をもとに
星)「ボール遊びスペース」(20m×10m)を都市計画公園「戸倉公園」に設置する。この考え方がついに市より示された。キャッチボール、サッカーといった「ボール遊びお試し会」を現地で開き、子どもたちのアイデアや意見を聞くことで、その面積を決定していただきたい。
市)懇談会・説明会と声を伺ってきた。今後は、公園全体における可能な広さの検討など、様々な考慮して詳細設計を決めていく。
星)「もっと大きくしてほしい」との意見がある一方で「これ以上広げる必要はない」との声も聞く。「子どもたちと決める」ことで、広さ

に対する地域のみなさんの一定の納得感を得ることができる。ぜひ行っていただきたい。

☆小・中学校にエレベーターの設置を
星)「生まれつきの病気で階段の昇り降りが難しい。重たいランドセルを背負うと転落の危険性が更に増す。だからといって、地域の小学校に通うことを諦めさせたくない。大好きな姉と同じ学校に通うことを本人も希望している。病気のことを含めて理解してくれている幼稚園のお友だちとの交友関係もなくしたくない。病気があるからといって、設備が整っている学区域ではない学校に進むことを当たり前にしてほしくない」。小学校入学を控えるお子さんのいる

立憲・市民フォーラム 星 いつろう



保護者からお寄せいただいた。現在、二小、四小、四中のみにエレベーターがある。病気、ケガ、障がいのある児童生徒の「まなび」と「場所」の多様な選択肢を保障するために、全小・中学校にエレベーターの設置を。

市)現在、校舎の増築に伴い三小、七小、十小で校舎内の移動の円滑化対応を図っている。他の学校については校舎の更新や増築のタイミングを捉えて検討していくことが望ましい。

星)市が掲げている「心のバリアフリー」に基づき今後も要望を続けていく。

デジタルを活用したより良い街づくりを

(1)駅周辺を中心とした防犯について

◆現状：コロナ禍は犯罪件数が減少していたが、ここ2年は再度増加に転じてしまっている。自治会や町内会が主体となって防犯カメラを設置する際の補助金は存在している。

◆理想：犯罪件数を抑制させ、安全・安心な街にしておくことが大切。※市の総合ビジョンに記載の目標は令和6年度で460件。

◆提案：犯罪件数の多い駅周辺を中心に防犯カメラ設置の強化と、GPSタグ等の市民の購入助成と推奨を提案。

(2)国分寺市公式ホームページの運用について

◆現状：もっと見やすく使いやすい公式HPに

してほしいという声が続く。

◆理想：役所に行かなくても申請などが可能になる構想も市にはあるため、幅広い方が活用する市の公式HPの利便性を高めるのは必須。

◆提案：市民の意見を聞いたアクセシビリティの向上のみでなく、アクセス解析ツールを用いた定量分析や、他自治体の見やすいHPの研究をし、定期的にブラッシュアップを行っていくことを提案。

(3)市の施設の電気代及び契約について

◆現状：電気代高騰のあおりを受けているのは市民や民間に限らず役所も同様。※R.3からR.4で電気使用量3%増加に対し、料金は70%上昇。

無会派(日本維新の会) 寺嶋 たけし



⇒電力の自由化の影響もあり、契約自体が難しいという電気代以前の課題もある状況。

◆理想：市の現状を踏まえると次の優先順位で課題解決をしていくことが必要と考えられる。

①電気安定供給(契約の安定化)

②電気代の抑制(固定費圧縮による財政改善)

③クリーンエネルギー活用(余力による理想)

◆提案：電力業界の新たな仕組み「デジタルグリッド」を提案。この仕組みはP2PやAIの活用により、上記の①と②を同時に解決できる可能性がある。(③も解決の見込みあり)

情報公開条例を守り情報は迅速に公開すべき

1. 新庁舎建設について=去年の12月から工事が始まり1年たち順調に進んでいる。引っ越しについては業者を選定中とのこと。文書は6割削減した。新庁舎ではワンストップサービスを導入し、窓口・ライブイベント・福祉に関する手続きを一ヶ所でするようにする。またグループアドレスやサポートゾーンの導入により職員の新しい働き方を予定している。

2. 西国分寺駅北口について=駅前フェンスで囲まれた土地の有効活用をお願いしたい。⇒現在は土地開発公社が所有して市が管理している。公共の目的でしか利用できないが一時的な利用について活用を検討したい。

3. プラスチック廃棄物の有料化について

ごみ全体の歳入と歳出は今回の有料化で、歳入は4億9,990万から5億5,730万になりプラス5,740万、歳出は26億7,323万から26億9,388万になりプラス2,065万で、歳入から歳出を引いた市の負担は3,675万円減ることになると6月議会で答弁していたが、実際には歳出について前回の答弁で民間処理施設委託料1億5,623万が抜けていたため全体としては28億5,011万となり1億7,688万の増額となることわかった。市民に負担を強いるのだから数字は正確に誠実に説明してほしい。

4. 国民健康保険税について=2年続けて値上げになる。制度上の問題も大きいが一般会計から

立憲・市民フォーラム 及川 妙子



の繰り入れが11億円を超えている。急激な値上げを回避するため今回の値上げはやむを得ない。

5. 小学校知的障害特別支援学級検討委員会について=資料と議事録をホームページに早く載せてほしい。情報公開条例で情報は迅速に市民に公開することになっているので条例順守を。

6. 障害者雇用納付金制度ができて重度障害者も働く時に仕事以外の生活サービスが受けられるようになったと聞く。すべての人を大切にすまち宣言をしている当市においてはぜひ率先して前向きに検討して。

「切れ目のない支援」に、多角的な視点で！

●産前からの切れ目のない支援について●

＜新生児訪問＞出産時の骨盤への負荷による不調や腱鞘炎等への対策について、より専門的な助言を行えると効果的です。訪問指導員の研修時に、理学療法士による講座を取り入れてはどうでしょうか。

⇒(市)今は想定していませんが、常に更新される情報を収集し、適切な対応に努めます。

＜育児相談＞「地域みんなで子育てしよう」と内面から啓発することも大切。啓発のためのポスター掲示やHPへの掲載はいかがでしょうか。

⇒(市)各事業運営で周知し、その他様々な機会を捉え、発信したいと考えます。

＜産後ケア＞拡充されていますが、登録したが利用しなかった方も一定数います。助産師による授乳ケアの訪問や、子育て応援チケット制度の導入等はいかがでしょう。

⇒(市)産後ケア事業を拡充する方針。国分寺市として実現可能なところから進めていきます。

＜産後明けに働く母親へのケア＞①産後に子どもを保育所へ預けてから、母体のケアや相談を受ける機会がありますか。

⇒(市)就労の有無に関わらず、市からのプッシュ型でファーストバースデイサポート事業や乳幼児母性健康相談を実施しています。

②保育所へ預けられない等の対策として都のベ

国分寺・生活者ネットワーク 松岡 まり



ビーシッター利用支援制度の導入を要望します。

⇒(市)他市の利用状況を確認し研究します。

●認証保育所との関わりについて●保育所の意向、通う園児や保護者等の想いを踏まえ、今後の方向性を丁寧に話し合い、フラットな関係性構築を要望しました。

◆地域に住む様々な背景の人たちが、集まり、遊び、学び、対話することは、地域で安心して産み育てることに繋がります。このコミュニティこそが切れ目のない支援そのものであり、このような市民活動への更なる支援も大切です！